

SMFL系 リース航空機200機発注 ボーイング・エアバスに

三井住友ファイナン
ス&リース(SMFL)は21日、傘下で航空機リースを手がけるSMBCアビエーションキャピタル(AC、アイルランド)が米ボーイングと欧州エアバスにナローボディ(単通路)の航空機200機を発注したと発表した。航空旅客需要が引き続き堅調に拡大し、リース航空機の需要が高まるとみて大型発注に踏み切った。2030年代半ばまでに順次納入される計画。発注したのはボーイングの「737 MAX 10」60機、「737 MAX 8」40機。エアバスの「A321neo」65機、「A320neo」35機。燃料消費量、二酸化炭素(CO2)排出量が少なく、環境負荷が低いのが特徴。今回の発注について、SMBCACのピーター・バレット最高経営責任者(CEO)は「最新世代のナローボディ機の長期的な需要の高さに対する当社の強い自信を示すものだ」とコメントした。SMBCACは発注済みを含めた保有・管理機材数で業界2位に付ける。